

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (017200366), 法人名 (株式会社 道央ケアセンター), 事業所名 (グループホーム つつじⅡ (第2ユニット)), 所在地 (北海道小樽市朝里川温泉2丁目694番4号), 自己評価作成日 (令和4年2月5日), 評価結果市町村受理日 (令和4年3月9日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな環境に位置しており、暖かい季節には、周りの山々の景色や草花を眺めながら散歩を楽しむことができます。また、フロアの窓からは、遊びに来た野生のリスや鹿、野鳥なども見ることができます。暖かい季節には、中庭でお茶を楽しんだり、花壇や家庭菜園があるので、利用者の方々と一緒に花壇への水やりや、野菜を育て収穫し食事をしています。ゆっくりとした家庭的な雰囲気の中で利用者様一人、ひとりが楽しく安心した生活が送れるように努め、地域の方々と交流を深めながら、地域に密着したグループホーム作りを目指し取り組んでいます。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, http://www.kajigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=tr ue&JigvosyoCd=0172000283-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (令和4年2月15日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

Empty table box for external evaluation comments.

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 detailing service outcomes and evaluations.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念は全職員の目に付く場所に掲示し、定期的に社内研修を行うことで職員の理解を高めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	例年は町内会や地域の方々にご協力頂き、季節行事を行いふれあう機会を作っていましたが、現在は新型コロナウイルス感染予防対策の為行っておりません。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や避難訓練の際利用者様や認知症に対する理解や支援をお話する機会を設けていましたが、現在は新型コロナウイルス感染予防の為生かされていません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は新型コロナウイルス感染症予防の為外部の方々が、来られない状態が続いています。現在は職員間での意見交換を行い議事録をご家族様や関係各位へ郵送にてお送りしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	電話や窓口で事業所の実情やケアサービスの取り組みについて相談をしたり、アドバイスを受け、協力を築ける様に取り組んでいます。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3ヶ月に1度身体拘束委員会を開催し、社内研修にも取り入れています。禁止対象になる具体的な行為も職員が正しく理解し、日々のケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法を社内研修で学び理解を深め、事業所内で職員全員が虐待の防止に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修に取り入れ、制度の理解を深めたり、意識・知識の向上に繋がるよう努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	サービス提供前に契約書・重要事項説明書についてご家族様に説明をしています。不明な点については話し合いをし、納得して頂けるように努めています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見や要望があれば来訪時や電話でお伺いしています。また、玄関に意見箱を設置しています。職員全員で話し合い反映させています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案を重視し、気付いた事・感じた事を定期的に会議を開き、意見交換が行える機会を設けています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の能力が発揮できるように努めます。それぞれが目標を持ち、積極的に資格取得に取り組み、向上心を持って働けるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人ひとりの持っている力や経験などを把握し、働きながらスキルアップしてもらえるように助言している。事業所以外の研修は新型コロナウイルス感染予防の為中止しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	相互訪問や勉強会は、新型コロナウイルス感染症予防の為中止となっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています。	事前に要望等を伺い、不安なく入所出来るように見学を勧めたり、実際に見て頂き、ご家族やご本人が安心して入所出来るように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の不安やご要望を聞き入れ、ご要望に沿った支援を行ない、ホームとの信頼関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としているサービスが何なのかご本人・ご家族様から伺い、職員間で検討し協力しながら最善の支援が提供出来るように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様と一緒にできる事は手伝って頂き、分からない事は教わりながら、良好な関係を築けるよう努めます。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来訪時やお電話にて、ご本人の様子をお伝えし、ご家族さまからの要望をお聞きし、安心して生活が送れるように努めます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今までは友人・知人と自由に面会をして頂いていましたが、コロナ感染予防につき現在は面会を中止していますが、電話の支援はさせて頂いています。ご家族様に協力を頂いていた病院等は職員対応とさせて頂いています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様1人ひとりの性格を把握し、利用者様同士の相性にも配慮して、その方に合った生活が出来るよう工夫し支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、これまでの関係を大切に、相談事があればいつでも連絡して頂けるようにお伝えしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中でご本人に寄り添い、希望や意向を伺い、意思疎通が困難な場合は、表情や言葉などから思いを把握するように努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族から情報を伺い、日々の生活の中でできる事は継続して頂けるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日の過ごし方や心身の状態を把握し、無理のない程度に出来る範囲で能力を発揮できるよう努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族の意向を伺い、担当者会議で適切なサービスが出来るよう、見直しとケア方法を話し合い、介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の様子を個別に記録し、職員間で話し合いを行い、情報を共有しています。また、モニタリングを行い介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力医療機関以外にご家族様に対応されていましたが、新型コロナウイルス感染症予防の為、同行送迎は現在ホーム職員が行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	新型コロナウイルス感染症予防の為、地域の方々との交流は難しいが、ホームにてご本人の生活意欲が向上し安全で豊かな暮らしが出来るように支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前のかかりつけの病院を今後も継続するか、施設の協力医療機関へ移行するかは、ご本人・ご家族様に決めて頂き、適切な医療が受けられるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の健康観察を行い、変化があった場合には協力医療機関の看護師へ相談し助言を頂いたり、受診をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的にご家族様や医療機関に連絡を取り、病状の把握をしています。退院後に出来るケアを助言して頂き、早期に退院が出来るよう努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいます。	重度化や終末期については、サービス開始前に説明をしています。協力医療機関や他の施設を連携し、その状態に合った支援が受けられるように取り組んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内研修などで応急手当や初期対応が出来るように学んでいます。今後も職員全体が実践出来るように努めます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を年2回、日中と夜間を想定し、消防の協力のもと訓練を行っています。地域の方々の参加は新型コロナウイルス感染症予防の為ありませんでした。備蓄品も用意しています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、相談事などは個別にお部屋で伺うなどし、穏やかに生活が出来るように対応しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の希望などを伺えるように声を掛け、話しやすい環境を作るように心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お食事・入浴・行事の参加はご本人のご希望や体調、ペースに合わせて無理のないように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合ったその人らしい服装が着られるように支援しています。一人ひとりのこだわりを尊重し支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好き嫌いがある方には好みに合わせて食事を提供しています。行事がある時には特別メニューと提供し楽しんでいただいています。片付けは無理のない程度に一緒に行っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの体調や好みに合わせて、食事量やお粥、刻みなどの調整をしています。食事の量や水分量は毎日記録しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりの口腔状態に合わせて歯磨きを促し、不十分な時には仕上げ磨きや義歯洗浄の援助を行っています。夕食後は義歯をお預かりし、消毒をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、自立されている方は、現状維持出来るように見守ります。困難な方は援助を行い、プライバシーに配慮したトイレでの排泄を目指して支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	掛かりつけの病院に相談し、下剤の量を調整しながら排便の有無の確認をして記録しています。また、牛乳を飲んで頂いたり、マッサージをしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ゆったりとした浴室で、一人ひとりの体調や気分を考慮しながら、入浴が楽しめるように支援しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの体調や状況を把握し、休息出来るようにしています。夜間は定期的に巡視を行い安心して眠れるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬の説明書を事前に確認し、副作用・用法・用量について理解し、服薬中体調の変化の確認に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人様やご家族様から生活歴や趣味などを伺い個々の力を発揮できる場や楽しむ事が出来るように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	暖かい日には中庭を散歩したり、ベンチに座りお話をしています。新型コロナウイルス感染症予防の為外出レクリエーションやご家族様との外出は現在できていません。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人で金銭を管理している方はおりませんが、ご本人の希望があれば、ご家族様と相談しながらお預かりしているお小遣いを使う事も可能です。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様や親しい友人からのお電話の際は直接ご本人とお話をしています。ご本人から要望があれば、こちらからお電話を掛けています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には、季節に応じた飾りつけをしています。個人の居室には1人ひとりの趣味の飾り付をしたり、ご家族様のご用意してくださったものを飾ったりしています。また、室内の温度調整を行い、快適に過ごせるように努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりの居室がありますので、自由に居室でゆったり過ごされたり、フロアでは気の合う利用者様同士がお話出来るように工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際に、ご家族様と相談をし、ご本人が使い慣れた家具や小物などを配置して、今まで通り快適に過ごして頂けるように工夫をしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部の居室やトイレには、誰が見ても解るように目印や見出しを付けたり、名前を付け、不安なく自立した生活が送れるように工夫をしています。		